

令和5年度全国労働衛生週間表彰式開催ニュース

(一社)金沢労働基準協会の令和5年度全国労働衛生週間表彰式が10月26日(木)KKRホテル金沢で受賞者、推薦団体、来賓、講演者などが出席して開催されました。表彰式は、次の次第にそって、午後4時から開催され、午後5時30分に終了しました。

1.	開 会	
2.	表彰状授与	
3.	会長あいさつ	
4.	祝辞及び講演	金沢労働基準監督署 署長 小谷 一彦 様
5.	安全衛生活動報告	サンコー企画株式会社 株式会社金沢シール 金沢労働基準協会
6.	閉 会	受賞者全員、参加者全員で写真撮影

表彰式では、まず、優良事業賞受賞者に賞状が高桑会長から授与されました。受賞者は、次のとおりです。

優良事業場賞

受 賞 者 名	所在地及び代表者
医療法人明仁会 <small>めいじんかい</small> かないわ <small>びょういん</small> 病院	金沢市普正寺町9番6号 理事長 永田 巽
北鉄白山バス株式会社 <small>ほくてつはくさん</small>	白山市安養寺町ニ30番地 代表取締役社長 松田 隆一
丸文通商株式会社 <small>まるぶんつうしょう</small>	金沢市松島1丁目40 代表取締役社長 宮本 治郎
株式会社大和 <small>だいわ</small> 香林坊店 <small>こうりんぼうてん</small>	金沢市香林坊1丁目1-1 香林坊店長 岡本志郎
アール・ビー・コントロールズ株式 会社 <small>あーるびーこんとろーるず</small> 鶴来工場 <small>つるぎこうじょう</small>	白山市小柳町ろ250番地 代表取締役社長 遠藤 健治
株式会社東陽技研 <small>とうようぎけん</small>	河北郡津幡町東荒屋355-1 代表取締役 越豊和

個人功労賞

受 賞 者 名	所属会社、所在地及び代表者
武 外喜男 <small>たけ と き お</small>	白山市鶴来本町1丁目ワ102 武久商店 代表
村山 智治 <small>むらやま としはる</small>	白山市鶴来水戸町2丁目47-47 株式会社 フォレストジョブ 代表取締役
谷口 栄士 <small>たにぐち えいし</small>	河北郡津幡町字東荒屋514 有限会社 谷口鋳金工業 代表取締役

令和5年度全国労働衛生週間表彰式開催ニュース



明仁会かないわ病院の永田巽理事長

北鉄白山バスの松田隆一代表取締役社長

丸文通商の宮本慎郎代表取締役社長



大和香林坊店の山下修平課長

アール・ビー・コントロールズ鶴来工場の松本健一工場長

東陽技研の越豊和代表取締役

次に個人功労賞受賞者に賞状が高桑会長から授与されました。



フォレストジョブの村山智治代表取締役

受賞者全員で記念写真を撮影しました。

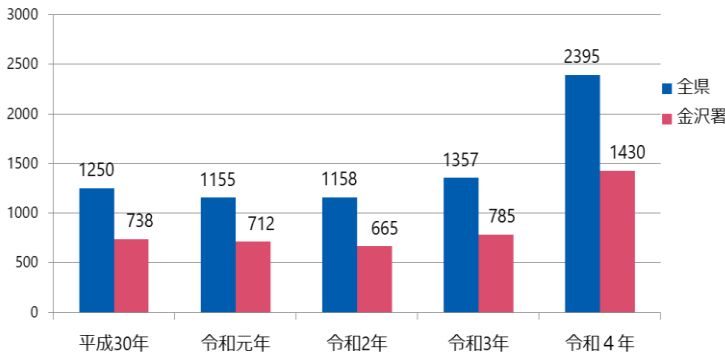
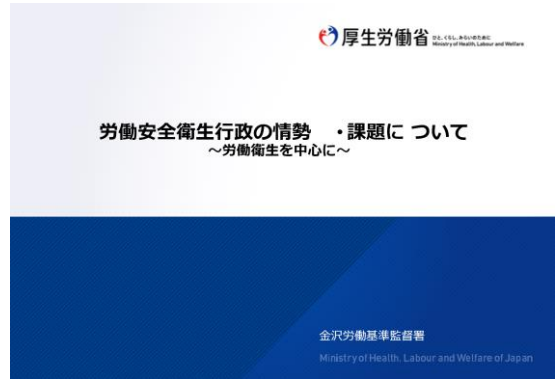


かないわ病院 大和香林坊店 丸文通商 小谷署長 高桑会長 東陽技研 アールビーコントロールズ 北鉄白山バス フォレストジョブ

令和5年度全国労働衛生週間表彰式開催ニュース

金沢労働基準監督署長からの祝辞及び講演では、小谷一彦署長から受賞者の功績功労、安全衛生活動への取組とその成果への賞賛の言葉にあふれた祝辞のあと、労働衛生行政の現状と課題について説明がありました。(以下要旨)

- I 労働災害発生状況
- II 職業性疾病の発生状況
- III 定期健康診断有所見率の推移
- IV 脳・心疾患、精神障害事案の労災請求・決定状況
- V 第14次労働災害防止対策(抄)
 - (1)労働者の健康確保対策の推進(メンタルヘルス、過重労働)
 - (2)化学物質等による健康障害防止対策の推進

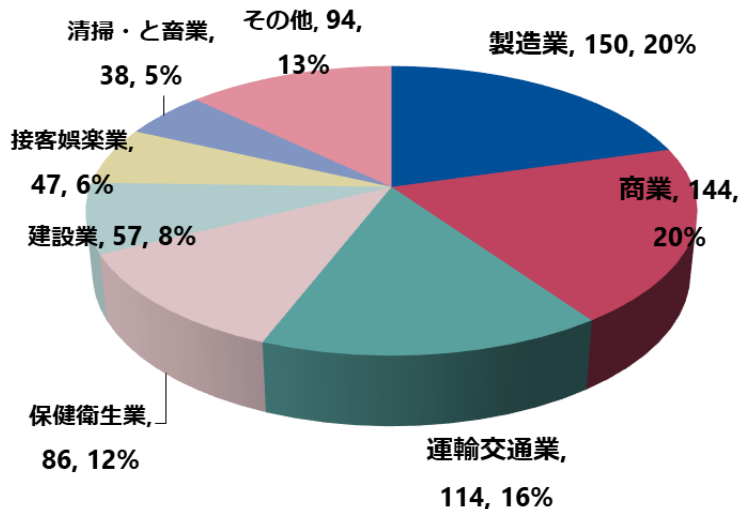


令和4年の休業4日以上の労働災害死傷者数は、1,430人、令和3年よりも645人(82.2%)の増加となった。このうち新型コロナウイルス感染によるものが700人(49%)を占め、感染拡大の影響が大きかった。これを除いた死傷者数は730人であった。

令和4年の労働災害死亡者数は、前年の3人から倍増、6人となった。業

種別では、製造業と建設業で各2人、商業、運送業で各1人であった。

災害の概要は、製造業では、設備に頭部を挟まれたもの、石材が倒壊し身体を挟まれたもの、建築工事では、屋上で外観写真撮影中に墜落したもの、熱中症によるもの、運送業では、トラックに鉄骨を積載中に鉄骨の下敷きになったもの、商業では、交通事故によるものであった。金沢地区は、製造業と商業と運輸交通業と保健衛生業で7割近くになっている。



【メンタルヘルス対策】ストレスチェックの実施のみにとどまらず、ストレスチェック結果を基に集団分析を行い、その集団分析を活用した職場環境の改善までを行うことで、メンタルヘルス不調の予防を強化する。「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に対して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」に基づく取組をはじめ職場におけるハラスメント防止対策に取り組む。

令和5年度全国労働衛生週間表彰式開催ニュース

【過重労働対策】過重労働による健康障害を防止するため事業者が講ずべき措置に基づき、次の措置を行う。

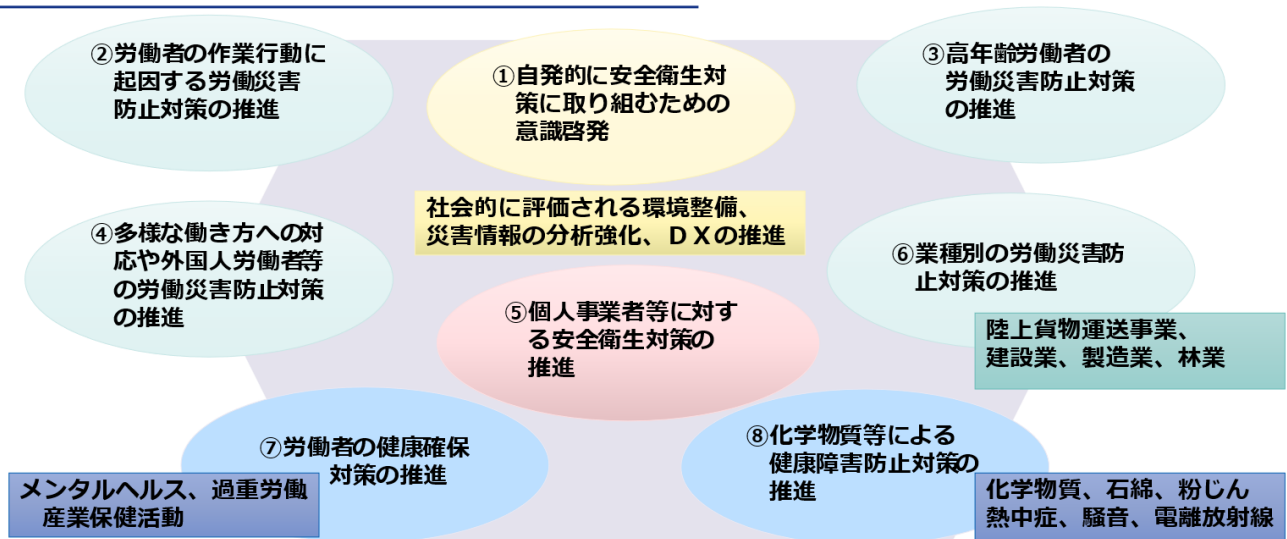
- ①時間外・休日労働の削減、労働時間状況の把握、健康確保措置等
- ②年次有給休暇の確実な取得の促進
- ③勤務間インターバル制度導入など労働時間等設定改善指針による労働時間等の設定改善・長時間労働による医師の面接指導の対象となる労働者に対して、医師による面接指導や保健師・看護師等に産業保健スタッフによる相談支援を受けるよう勧奨する。

V 石川労働局第14次労働災害防止計画（概要） 令和5年（2023年）4月1日～令和10年（2028年）3月31日

○計画の方向性

- 厳しい経営環境等様々な事情について、それらをやむを得ないとせず、**安全衛生対策に取り組むことが、事業者にとって経営や人材確保・育成の観点からもプラス**であると周知する等、**事業者による安全衛生対策の促進と社会的に評価される環境の整備**を図っていく
- 引き続き、中小事業者なども含め、事業場の規模、雇用形態や年齢等によらず、**どのような働き方においても、労働者の安全と健康を確保する**とともに、誠実に安全衛生に取り組みず労働災害の発生を繰り返す事業者に対しては厳正に対処する。

○8つの重点対策



会社概要

本 社	石川県河北郡津幡町字旭山11番地2
資 本 金	2,500万円
売 上 高	9.6億円（令和3年度）
従 業 員 数	53人（令和4年11月現在）
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路面サイン企画・製造事業 ・ 駐車場活性化事業 ・ 交通安全施設事業
主要販売先	<ul style="list-style-type: none"> ①全国交通安全施設業者・建設業者等(約1,100社) ②官公庁並びに地方自治体 など

サンコー企画株式会社の藤原経営管理室長から同社の労働衛生活動の様子を報告していただきました。

【本社】津幡町の旭山工業団地内にあり、新幹線が見える丘公園の近くです。緑に包まれた環境下で伸び伸びと勤務しています。

【従業員数】ちなみに男性40～50代、女性30～40代が従業員の半数を占めています。平均年齢は41.8歳です。

【事業内容】当社は「屋外路面」をビジネスフィールドにしており、この3事業を柱とし、全国の皆様に製品とサービスを提供しております。

令和5年度全国労働衛生週間表彰式開催ニュース

健康経営の経緯についてです。当社では取り組む以前から福利厚生には力を入れておりました。健康診断は行っておりました。健診受診率は90%、二次健診の受診率は10%いくかいかないかです。当時、総務課が担当していましたが「健診データのどう取り扱ったらよいか分からない」「二次健診の受診しなくても問題ないだろう」と個人任せで曖昧な管理状況でした。

当時から健康に自信がある方が多くみられ、病気に無縁という方が多かったです。受診しない数名は「仕事が忙しい」「鍛えているから」または「かかりつけ医で見てもらっているから受けたくない」等々と色々でした。10年前に大きな動きがありました。

経営層、管理職の長期入院です。またその2年後にはインフルエンザの集団感染が起きて、次第に色々な事態が発生


し、業務に支障が出るのではと心配する声が上がっていました。

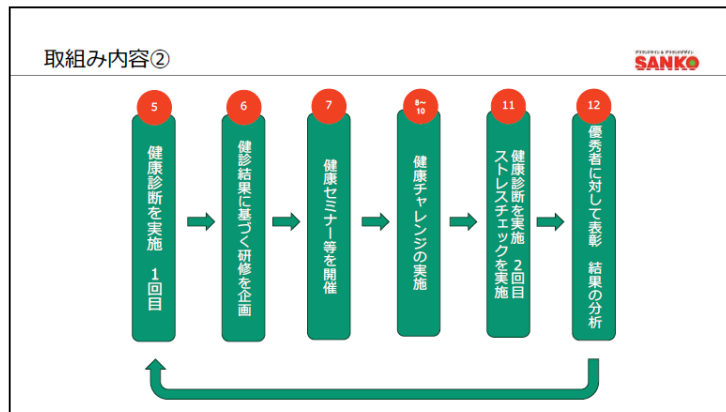
この事を機に社長から「病欠って長く続くとマズイのでは?」「従業員は家族の一員、欠けることは当社の創業哲学に反する!」という言葉があり、意識し始めたのが、健康経営の取り組むきっかけです。

PERSONAL PROPERTY
SANKO

健康経営の経緯

- 創業当初から福利厚生には力を入れていた。
⇒ 快適職場の認定・カンガL会の発足 etc
健康診断の受診率90% 二次健診の受診率10%
営業・施工・事務・製造によって有所見の内容は異なっていた。
- 10年前 経営陣が大腸ポリープで癌の疑い
管理職が突然の椎間板ヘルニア
8年前 工場でのインフルエンザ集団感染
1年おきに 病気やメンタル不調者が発生する異常事態
→ 業務に支障が出る前に対策を講じなければいけない





当社ではこの取り組みを1年のスパンで取り組んでいます。(スライド毎に読み上げる)現在ではこの取り組みを表彰規程に盛り込み社内行事としています。

健康診断も年代ごとに検査内容を分けて、充実させています。

50代は日帰りドック 40代は簡易ドック(生活習慣病+付加健診)

30代後半は生活習慣病 30代前半未満はB健康診断にしています。

また女性には配慮を行っています。乳がんと子宮頸がんは必須としています。

また当社の取組みに協力して頂ける企業も増えました。特に大手企業が着目してくれて助かっています。若手社員から提案で採用され、健康チャレンジのイベントの参加賞で協力して頂き利用したものです。その他には野菜の摂取量を図る器具の体験会の実施、オフィススモージーの設置、看護職・産業医のリモート化、メンタ

PERSONAL PROPERTY
SANKO

取組みの成果

- 残業時間の低減**
13年前 40時間 → 今年 10時間未満
- 有給取得率の向上**
13年前 40% → 今年 70% 以上
- 企業イメージの向上**
新卒 13年前 0~3名 → 3年前 5~15名
中途 大学卒に変化
- 社員の健康意識の向上**
健康に関する意識が高まり、提案が増えた。




令和5年度全国労働衛生週間表彰式開催ニュース

一制度導入など、新しい次につながる動きができました。

あくまで私見ですが、企業の成果もですが、個人では積極的に取り組み、結果として成功している方は、この成功体験の経験から、自身に対する自浄作用が高くなり、仕事のパフォーマンスが高くなっていると感じています。

メッセージ




多くの方に助けて頂き、社員や企業、社会の成長発展の共通項を少しでも獲得できるを追求した結果がここにあります。

当社は中小企業であり、大きな事をしたくてもできません。
小さなことの積み重ねが成果に繋がっています。




これからもできることを取組み、当社の独自性を追求し、
「すばらしき Small Company」を目指してまいります。



続いて、株式会社金沢シールの島津管理部総括執行役員から同社の労働衛生活動の様子を報告していただきました。当社の健康経営の取組内容は、まず、とりくみのきっかけですが、当社社長が、




(株)金沢シール 健康経営実践事例



会社概要

□ 商号	株式会社 金沢シール
□ 代表者	代表取締役社長 小杉 善文
□ 事業内容	シール・ラベル及びステッカーの印刷、販売
□ 取扱商品	タックラベル、グルーラベル、シュリンクラベル インモールドラベル、ステッカー、感熱ラベル 軟包材、ラベラー
□ 創業	1935年(昭和10年4月1日)
□ 資本金	6,500万円
□ 従業員	172名(男91名、女81名)
□ 所在地	本社 石川県白山市横江町 営業所 東京、新潟、富山、大阪
□ 関連会社	株式会社白山シール



法人会青年部会の中心メンバーとして、健康経営の重要性を認識し、会員企業への健康経営の推進と普及に取り組む活動を始める。そこで、当社でも健康経営に取り組むことを宣言しました。

- ・協会けんぽ石川支部の「かがやき健康企業宣言」に参加、健康経営の取り組みをスタート
- ・企業理念 社是 「生きた商品づくり」、基本理念 「創造」、「人間性尊重」、「コミュニケーション」に沿った活動（従来から取り組んでいた活動）
- ・法規制等の対応（健康・労働時間管理、メンタルヘルス対策、働き方改革改革、ワークライフバラ

令和5年度全国労働衛生週間表彰式開催ニュース

ンス、同一労働同一賃金、育児介護休暇等)

- ・戦略課題の解決 組織の活性化、生産性向上、業績向上、モチベーション向上、コロナ対応等



取組事例1

健診関係

- ・人間ドック(一部会社負担)
- ・40歳以上の希望者(正社員、サポート社員)
- ・産業医との個別面談(会社)
- ・特定保健指導(協会けんぽ)

健診の結果、メタボリックシンドロームの予備軍と判定された方の保健師、管理栄養士による保険指導(勤務時間内)

- ・がんの一次スクリーニング検査無料
- ・40歳以上の希望者(正社員、サポート社員)
- ・PET検査(一部会社負担)

受動喫煙対策

- ・屋外分煙





取組事例2

過重労働防止対策

- ・残業時間管理(40H以内、60Hを超える人は面談)
- ・ノー残業デー(月2回)
- ・年次有給休暇の取得促進(休暇届の理由欄を外す)

働き方改革

- ・サービス残業の禁止
- ・夜間勤務の廃止
- ・着替え、ラジオ体操、朝礼、掃除、ミーティングの就業時間内への変更

人事諸制度の見直し

- ・同一労働同一賃金(サポート社員とパート社員の統合)
(正社員との均等待遇の実現)
- ・男性社員の育児休業の促進、育児短時間勤務の小学校就学前までの延長、副業の促進





取組事例3

コミュニケーションの促進

- ・レクリエーションクラブの活動推進
野球、テニス、釣り、ゴルフ、映画、ボウリング、陸上、麻雀(会社で活動一部補助)
- ・サークル活動の推進(グルメ等)
- ・花見(新入社員歓迎会)、バーベキュー、慰安会、各部署ごとの食事会、少人数のカフェスタイルによる対話の場
- ・従業員満足度調査を受けての全社、個別対応
- ・朝礼・社内報・1on1ミーティング・座談会・海外研修

こころと身体の健康づくり

- ・毎朝のラジオ体操





取組事例4

感染症予防

- ・マスクの配布。
- ・お子様の学校休校による特別休暇
- ・陽性者及び濃厚接触者の休業、待機期間の給与全額支給
- ・一部在宅勤務
- ・一部時差出勤勤務
- ・抗原検査キットの準備、配布(会社負担)
- ・PCR検査の実施(会社負担)

その他

- ・簡易歯科健診[歯周病の検査](協会けんぽ:無料)50人
- ・業務災害保険加入



取り組んで良かった点は、

- ・優秀な人材の確保、定着(社員を大切にしている)
- ・メンタルヘルス不調者の減少、その対応減少
- ・長時間労働、休日労働の減少 ・疾患リスク減少
- ・社員の満足度、充実感を高める
- ・生産性向上、業績向上

